

居合道 だより

第161号



はじめに



▲竈門神社ライトアップ

先月24日は、県居合道部の稽古会が開催された。

当日は生憎の小雨混じりの中、プロ野球ソフトバンクホークスの優勝パレードもあり、若干名がそちらの観戦に行ったようだが多くの会員が熱心に稽古に励んだ。プロ野球と言えば我々の若い時代はなんといっても地元福岡の西鉄ライオンズである。日本シリーズで巨人軍相手に3連敗4連勝で日本一になった。当時のメンバーは、大下、豊田、仰木、怪童中西と個性溢れる野武士軍団であった。なかでも4連投のエース稲尾は神様仏様稲尾様とあがめられたものである。

本拠地はかつての平和台球場である。取り壊された跡地からは鴻臚館跡が発見された。隣接する平和台陸上競技場は現在も陸上競技の聖地として市民から愛されている。

その平和台を創った男が糸島出身の岡部平太である。西日本新聞で何度も掲載されているのでご存じの向きも多かろうが、小生と同じ糸島生まれだからとりわけ思い入れが深い。

少年時代から頭脳明晰、剣道、野球、テニス、水泳等スポーツ万能で、とりわけ柔道は強かった。講道館の嘉納治五郎に見いだされ上京し、近代スポーツを日本に広げるために米国留学をして多くのスポーツに挑み、科学トレーニング理論を学ん

だ。アメリカンフットボールを日本に持ち帰ったのも彼である。しかし嘉納治五郎が異種対抗試合を画策していることを知り恩師と決別し、旧満州に渡りスポーツを通じての日中友好の懸け橋ならんとしたが、太平洋戦争がその思いを打ち砕いた。あろうことか長男まで特攻隊で失った。

敗戦で心身共に疲弊し失意のうちに郷里糸島で慣れない農作業等に明け暮れていた昭和22年、当時の福岡市長、三好弥六が「来年の国民体育大会を誘致したい」と岡部に準備委員長を懇願した。

そこから岡部の獅子奮迅の働きが始まる。主会場となる競技場の建設地としてGHQが接收し使用していた福岡城趾に目をつけた。

誰もが無理だと思ったが、持ち前の反骨精神「どげんかなる、どげんかする」と言って何度もGHQに直談判。「もう戦争は終わった。ここをスポーツのピースヒルにしたい」と口説き落としたのである。「長男平一の鎮魂、そしてスポーツを通じた相互理解によって戦争を抑止したい」。この土地を「平和台」と命名したい。岡部の命懸けの一途な思いが通じ「協力援助を惜しまない」との確約までもGHQから取り付けた。米軍のブルドーザーまで借り受けて競技場を創り上げた。そしてマッカーサーに直訴して、敗戦後初めての日章旗を掲げることを許されたのである。

その手作りの大きな日の丸は糸島市の伊都文化会館の壁に現在も飾ってある。

不遇の時代を乗り越え、私欲ではなく世界平和のため、不可能と思える偉業を成

し遂げた不屈の精神。

一人の人間としてなんたる器の大きさ。あまりの偉大さ故に、小生如きは己を顧みて打ちひしがれそうにさえなってくるが、福岡にはこんな傑物がいたのだ。万分の一でも目標にし、励もうではないか。剣友諸君！



▲竈門神社ライトアップ

主な活動

- 1 1月 3日(日) 地域稽古会(飯塚)
- 1 1月 9日(土) 剣道・居合道・杖道「教士」称号筆記試験 全剣連
ホテルサンライン福岡
- 2 4日(日) 居合道部稽古会・級審査会 居合道部 福岡武道館
- 3 0日(土) 居合道6・7段審査会 全剣連 東京都

十二・一月の予定

- 1月 13日(祝) 居合道初稽古会 居合道部 武道館

地域稽古会スナップ



居合道部稽古会スナップ



編集後記

今年は令和元年ということで、太宰府周辺が盛り上がっております。ご存知の通り「初春の令月にして、気淑く風和らぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫らす」から取ったそうです。何とも美しい！早速万葉の時代の蘭（ふじばかま）を庭に植えて、ドライフラワーにしてみました。柔らかくない香りです。これをハンガーに吊るしてそれに稽古着を掛けると柔らかい香りが稽古着にうつります。まさに「蘭は珮後の香を薫らす」のとおりです。（珮は香り袋という解釈もあります）

この梅花の歌の前文の中に「ここに、天を蓋にし地を坐にし、膝を促け觴を飛ばす」とあります。なんとまあ酒を飲むのに「さかづきをとばす」との素敵な表現が気に入り最近友人を飲みに誘う時やたらと使ってます。

さて今回挿絵に使いました写真は、何の写真を使おうかなあ～と考えていたところ、娘が「太宰府の竈門神社でライトアップしてるみたい」との一言で急遽撮影に行きました。さあここでつい先日機種変更したばかりのiPhone 11 Proの出番となりました。スマホの技術革新は日進月歩で、プロが納得できる写真が撮れるようになってしまいました。もちろんカメラも持ち歩いておりますが、スナップにカメラいらんないんじゃない？と言えるぐらいの信頼感で撮影できます。

今号で掲載しております居合道のスナップも全てスマホのみで撮影したものです。

今回撮影に訪れた竈門神社は杖道の発祥と言われる宝満山の麓にあり、縁結びの神様として知られております。主祭神に玉依姫命（たまよりひめのみこと）をお祀りして魂と魂を引き寄せるのだそうです。末社には杖道の祖、無双権之助神社が祀られております。何と雅な紅葉は一見の価値ありでおすすめですよ！（かなり寒かったですよ。防寒して行ってくださいね）

© 公益社団法人 福岡県剣道連盟・福岡県剣道連盟 居合道部

第 161 号 令和元年 12 月発行

発行：福岡県剣道連盟居合道部

URL：<http://riai.info/>

発行人：井手友太

〒 819-1132 糸島市有田 36 番地 -1

TEL:092-322-0847

編集：有限会社 FEW

